

A. 主な動き

1. 内政

- ・26日、ドドン社会党党首は、ユーラシア統合のための議会内新連合を創設する意向であるとして、すでにミシン議員のグループ(「復興」党)と交渉を行った旨発言。
- ・27日、議会秋冬会期が開会。同日、議会は、ルプ議会議長の辞任を求める共産党の提案の審議を拒否し、関税同盟加入の是非を問う国民投票の実施に関する同党提出の法案を否決。共産党議員は、議会本会議を途中退場。
- ・28日、チェバン共産党議員は、議会共産党会派を離脱し、社会党に加入。

2. 経済

▼干ばつ

- ・26日、フィラト首相は、干ばつ被害を受けた農家支援のため、農業食品産業省に1億6,200万レイの予算を割り当てた、同予算のうち5,000万レイはEUからの支援である旨発言。

3. 外政

▼ティモフティ大統領の米国訪問

- ・24日、ティモフティ大統領は、第67回国連総会出席のためニューヨークを訪問し、潘基文国連事務総長との会談においてモルドバの国内改革、汚職との闘い及び沿ドニエストル紛争解決問題等に関し協議。
- ・25日、ティモフティ大統領は、ガシュパロヴィチ・スロバキア大統領と会談し、欧州統合過程に関し意見交換。ガシュパロヴィチ大統領は、欧州統合に関する経験の共有を提案し、改革の重要性を強調。同日、ティモフティ大統領は、ハマド・カタール首長と二国間経済関係に関し、グリボウスカイテ・リトアニア大統領と欧州統合、沿ドニエストル紛争及びエネルギー問題等に関し協議し、オバマ米大統領に対し米国によるモルドバへの支援に謝意を表明。
- ・26日、ティモフティ大統領は、国連総会での演説において、ロシア軍はモルドバの合意なしに不法にモルドバ領内に駐留しているとして、撤退するべきである旨強調し、沿ドニエストル地域に展開する平和維持部隊を国際委任統治下の文民ミッションへ変更させるモルドバの立場を改めて説明。同大統領は、また、沿ドニエストル紛争は「5+2」者交渉において解決策が見いだされることへの期待を表明し、領土一体性の枠内で沿ドニエストル地域に特別な地位を付与する平和的解決策を提示。

▼フィラト首相のウクライナ訪問

- ・28日、フィラト首相は、CIS首脳会合に出席のためヤルタを訪問、会合後、アザーロフ首相と会談。双方は、両国政治対

話が活発に実施されている旨高く評価し、ドニエストル川流域開発、ドニエストル水力発電所の稼働及び国境画定問題等の両国関係及び今夏のモルドバの干ばつ問題等に関し協議。アザーロフ首相は、ウクライナは干ばつ被害克服のための支援の用意がある旨発言。

- ・同日、フィラト首相は、メドベージェフ露首相と会談し、両国経済協力、エネルギー及びガス供給に関する政府間協定交渉及びモルドバ産ワインのロシア市場への供給問題等に関し協議。

▼ルプ議会議長のブリュッセル訪問

- ・24日、ルプ議会議長は、ブリュッセルを訪問し、フィーレ欧州拡大・近隣政策担当欧州委員と会談。フィーレ欧州委員は、法律、経済及び汚職と闘いの分野における改革の達成状況を高く評価。ルプ議長は、モルドバ議会は欧州統合に関連する法令を全て採択した旨、及び、モルドバはEUとのエネルギー共同体協定からの離脱はしない旨発言。
- ・25日、ルプ議長は、訪問中のブリュッセルにおいてシュルツ欧州議会議長と会談し、欧州議会とモルドバ議会の協力の深化に関し協議。双方は、10月29日、30日にキシナウにおいてモルドバ・EU議会協力委員会の会合を開催することで合意。

▼その他

- ・27日、議会は、本会議においてCIS自由貿易圏協定の批准を承認。

4. 沿ドニエストル

▼フィラト首相・シェフチューク「大統領」の会談

- ・26日、フィラト首相は、キシナウを訪問したシェフチューク「大統領」との会談において、貨物列車の運行再開に関する協定を1年間延長することで合意し、人及び貨物の自由な移動のための障害の除去、地域間経済活動の促進、旅客列車の運行、道路のインフラ整備、固定及び携帯電話通信、卒業証書の認定及び沿ドニエストル地域におけるラテン文字使用学校の教育等の問題に関し協議し、信頼醸成及び個別の問題解決のために作業部会活動の活発化は重要である旨確認。

▼その他

- ・26日、ルプ議会議長は、モルドバ議会は沿ドニエストル「最高会議」と沿ドニエストル紛争解決に向けた交渉を2012年末までに開始する予定である旨発言。
- ・27日、EUは、「5+2」者協議の進展に鑑み、旧政権関係者を対象としたEUへの渡航禁止措置を解除する旨、及び、ラテン文字使用学校に関する問題解決を阻む者に対しては

再度同措置が課される旨発表。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)